

2021年4月22日

ESG 投資方針の策定について

アフラック生命保険株式会社（代表取締役社長：古出 眞敏）は、この度、ESG 投資に関する基本的な考え方として「ESG 投資方針」*1を策定し、以下のとおり公表することとしましたのでお知らせします。

昨今、企業の長期的な成長のためには環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）の3つの観点が重要であるという考え方が社会に浸透し、機関投資家においても ESG 投資に関する考え方や取り組みを示すことで社会的責任を果たしていくことの重要性が高まっています。

当社は、創業以来、コアバリュー（基本的価値観）に基づく CSV 経営*2を実践することで持続的な成長を実現してきました。こうした当社の企業経営は、生命保険会社として、また機関投資家としても社会的責任を着実に果たしながら、社会と共有できる価値を創造するという点において ESG の考え方と一致すると考えています。

そのため、今般、当社は ESG 投資に関する考え方や取り組みを分かりやすく示すとともに、すべてのステークホルダーの期待に応えるために、当社の ESG 投資に関する基本的な考え方、具体的な投資手法を規定した「ESG 投資方針」を策定し、公表することとしました（別紙参照）。

今後も、当社は資産運用プロセスに ESG の要素を組み込むことで、世界経済の持続的な成長や社会的課題の解決に寄与するとともに、「Aflac VISION2024」に掲げる「生きる」を創るリーディングカンパニーへの飛躍を目指し、さらなる企業価値の向上に取り組んでいきます。

*1 詳細は <https://www.aflac.co.jp/corp/esg/environment.html> をご覧ください。

*2 Creating Shared Value（共有価値の創造）

■これまでの ESG テーマ型投資事例

- 東京都、フランス電力公社をはじめとする国内・海外の発行体が発行するグリーンボンドへの投資
- 再生可能エネルギーのひとつである太陽光発電の国内各地のプロジェクトが発行する債券への投資
- 新型コロナウイルス感染症対応等を目的としたアフリカ輸出入銀行向けストラクチャードファイナンスへの投資

ESG 投資方針

当社は創業以来、コアバリュー（基本的価値観）に基づいた CSV 経営を実践し、社会と共有できる価値を創造することで持続的な成長を実現してきました。昨今、環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）の3つの観点企業が長期的な成長のために重要だという ESG の考え方が世界的に広まってきていますが、当社の CSV 経営は、社会的責任を着実に果たしたうえで、社会と共有できる価値を創造するという点において、この ESG の考え方と一致しています。

当社の資産運用では、CSV 経営の考え方に基づき従前から ESG の要素が取り込まれていますが、上記の通り、昨今では ESG の3つの観点が企業の長期的な成長のために重要だという考え方が ESG 投資として社会に浸透し、機関投資家として ESG 投資に関する考え方や取り組みを示すことで社会的責任を果たしていくことの重要性がより高まっています。このような環境を踏まえ、当社の ESG 投資に関する考え方や取り組みを分かりやすく示すとともに、お客様・ビジネスパートナー・社員・株主・社会をはじめとするすべてのステークホルダーの期待に応えるため、当社は ESG 投資方針を策定し、ESG 投資に関する取り組みをより一層強化していきます。

ESG 投資基本方針

当社は、お客様への将来の保険金や給付金等のお支払いに備え、お客様からお預かりした保険料を安全かつ確実に運用するため、安定した収益が期待できる運用資産への投資を資産運用の中核としてきました。また、保険商品の長期にわたる負債特性に見合ったポートフォリオの構築を通じて、長期安定的な資産運用収益の最大化と財務の健全性の維持に努めています。

当社は、この資産運用方針における資産運用プロセスに ESG の要素を組み込むことで、世界経済と企業の安定的な成長に寄与し、また社会的課題の解決に貢献することを目指します。

主な ESG 投資手法

1. ESG インテグレーション

当社は、投資の分析において、ESG スコアの活用や投資先企業との対話を通じて、ESG 要素を考慮します。

2. 外部委託運用における ESG デューデリジェンス

当社は、外部委託先に対し、当社の ESG 投資の考え方や手続きを示すとともに、外部委託先の投資プロセスにおける ESG 要素の考慮の状況を確認するた

め、外部委託先による年次レビューや評価等のデューデリジェンスプロセスの実施を求めます。

3. ESG テーマ型投資

当社は、社会的課題および環境問題の直接的かつ測定可能な解決に資する投資を検討・実行します。

4. 日本版スチュワードシップ・コード

当社は、[「日本版スチュワードシップ・コード」に関する取り組み](#)を推進し、投資先企業との建設的な対話を行う中で、ESG 要素を考慮します。